

ココロ・ハカル・ハレル



マインドスケールのご案内



YumeCloud
株式会社ユメクラウド

今、なぜメンタルケアが必要なのか？

2018年の調査(UHC社)によると、従業員1千人の会社では従業員の抱えるストレスにより約6千万円の損失の可能性がある事がわかりました。ストレスによる損失額は、テレワークなどのリモートワークの導入によって増加していると言われています。このような状況の中、厚生労働省はストレスチェックを導入し、従業員50名以上の企業が義務付けられましたが、約6割の産業医が現在施行されているストレスチェックの効果に懐疑的との調査結果(MedPeer)が出ています。

心の健康を維持するために

年々ストレスによる健康被害は増加の傾向にあり、さらにコロナ禍によって新たなストレスにも向き合わなければならない時代となりました。

厚生労働省では平成27年より『ストレスチェック』が導入され、多くの企業が『健康経営』の考えから、定期的なストレスチェックが積極的に行われるようになりました。

しかしその内容に関しては様々な課題があります。リモートワークの導入で対面によるコミュニケーションが減少し、外見からの変化に気づくことが難しくなっている今、オンラインでのメンタルケアはますます必要不可欠になっています。

ただ測定を行うだけでなく、定期的にストレスチェックを行う事で、今のストレスを把握し、さらにメンタルケアを行う事で『こころの健康』を維持していくことが私たちの使命だと思っています。

CEO
吉田大輔

高ストレス者一人当たり
最大**150万円**の損失

オフィスのストレスを放置した結果

90%の社員が

プレゼンティーイズム^{※1}により

年間**60万円**の損失

アブセンティーイズム^{※2}により

年間**7万円**の損失

ユナイテッド・ヘルスコミュニケーション社
(2018年10社5,000人対象に行った調査)

リモートワーク中
従業員の**84%**が
問題を感じている

公私の区別
がつかない **41%**
ストレスや不安
などの課題 **33%**

オラクル・コーポレーションが調査を実施
(日本を含む全世界の12000人の従業員)
10月20日発表

産業医の**60%以上**
効果が無いとコメント

現在施行されている
ストレスチェックには
懐疑的だ。

あまり効果的でない。

MedPeer 2016年
医師4,031人対象に調査

※1「プレゼンティーイズム」とは、心身の不調により思うようなパフォーマンスが出来なくなること

※2「アブセンティーイズム」とは、不調による休みが続いたり無断欠勤が生じたりすること

今までにないストレスケア・プログラム

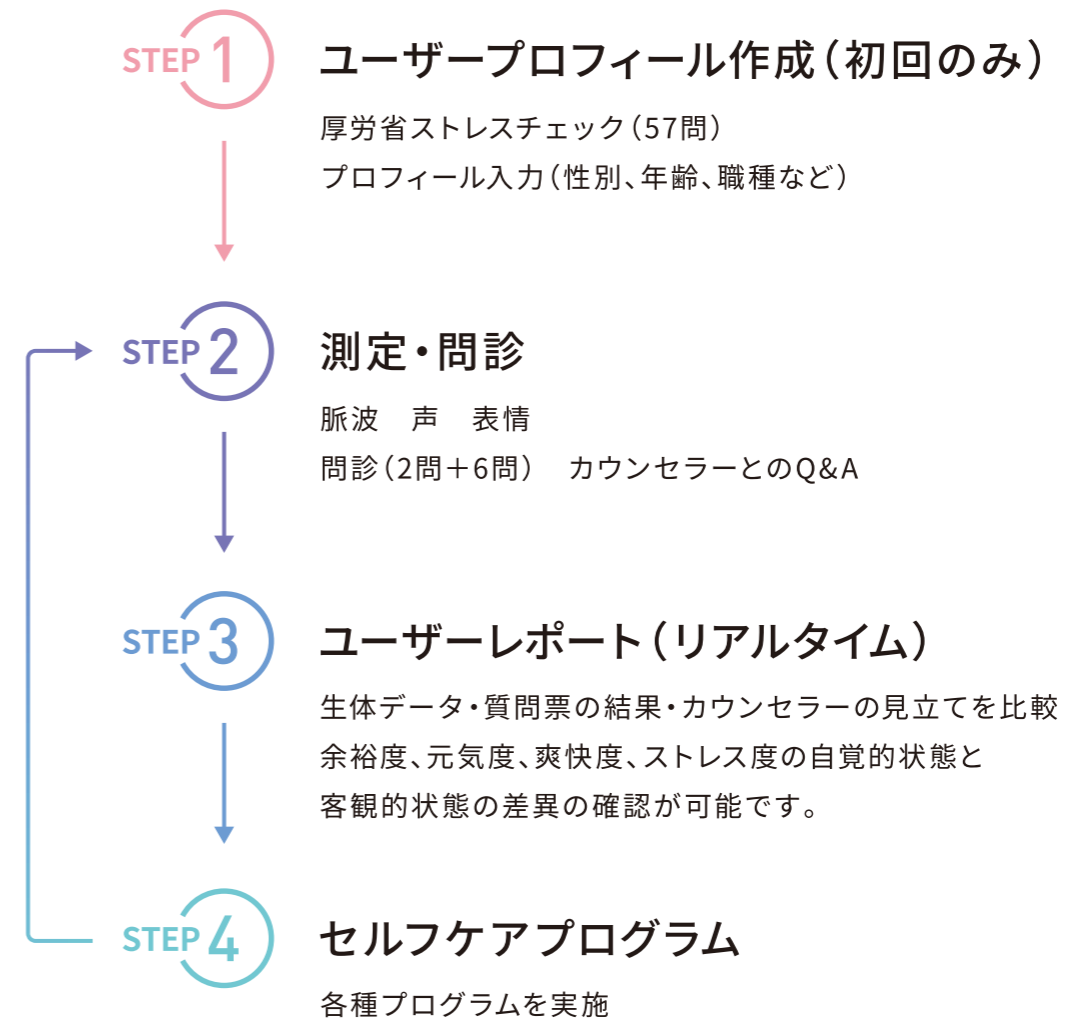
マインドスケールはYume Cloud社が提供するオンラインによるストレスケアのサービスです。通常のストレス測定とは異なり、自己申告だけではなく、バイタルデータ（脈波、感情、声）との関連性から、ストレスの状態を科学的に分析。さらに、専門カウンセラーによるカウンセリングを行い、「こころ」の状態に合わせたセルフケアプログラムをご提供します。その効果をモニタリングすることで、「こころの健康」を維持するためのメンタルヘルスケアを実現する、今までにない新しいプログラムです。



マインドスケールの先進性

近年、メンタルヘルスサービスは海外・国内に多数誕生し、スマホのアプリで簡単に出来る物から、医師などによる本格的なカウンセリングまで多数存在しています。その中でマインドスケールは独自に開発した“感情表現エンジン”によって複数の生体データによる科学的分析を行いストレスを見える化。より精度の高い傾向分析を可能にします。更に、生体データ、自覚とカウンセラーの見立てを比べる事で、本人でも気づかない心の状態をリアルタイムで表示します。このような独自技術により、短時間で行える高品質のメンタルケアプログラムを、リーズナブルな価格で提供致します。

マインドスケールの実行フローについて



ココロ・ハカル

独自のストレス見える化IoT技術(特許申請中)により科学的に精密分析を行い、さらに専門家によるカンセリングを行うことで、その結果から心の健康状態を把握し、今の心の状態に対して適切なアドバイスまでを導きます。科学的分析とカウンセリングを組み合わせた今までにないプログラムです。

POINT 1

質問票による自覚症状のチェック

質問項目(57問)にチェックを入れて、自覚症状を把握

POINT 2

独自のストレス見える化IoT技術



脈波から
「自律神経バランス」を計測



朗読による
「脳の元気度」を計測



表情による
「気分」を計測

POINT 3

専門家によるカウンセリングとアドバイス

監修スタッフ



開発アドバイザー

横山 道央

山形大学大学院理工学研究科准教授
半導体集積回路工学、センサネットワークシステム、生体信号処理と、AIビックデータに関する研究に従事。電気学会、電子情報通信学会、応用物理学、エレクトロニクス実装学会会員。



開発アドバイザー

原田 知親

山形大学大学院理工学研究科助教授
MEMS技術と集積回路技術を融合したセンサー研究、極低電圧駆動集積回路の開発、人・物の行動の可視化に向けたIoT/ICTシステムの研究に従事。電気学会、電子情報通信学会、IEEE各学会。

ココロ・ハレル

心の状態を把握し、ストレスの状態に応じて専門家による様々なセルフケアプログラムをご提案。プログラムを実施し、モニタリングをする事で心の健康を維持していきます。

POINT 1

タイプ別・状態に応じた各種ストレスケアプログラム

【視点とアプローチ】

① 心へのアプローチ → ストレスの気づきを育む

② 身体へのアプローチ → 習慣を整えて、
身体から心を整えるプログラム

POINT 2

プログラムを実際に行い測定

効果をモニタリングする事で改善へと導く



POINT 3

ユーザーの自律をサポート

心の改善と健康維持に導く

監修スタッフ



心理アドバイザー

佐藤 宏平

山形大学地域教育文化学部教授
臨床心理学、家族心理学領域の研究、抑うつや不登校のメカニズムや介入、家族療法、プリーセラピーに関する研究に従事。公認心理士、臨床心理士、日本心理臨床学会、日本家族療法学会、日本認知・行動療法学会会員。



関口 満

鍼灸師 按摩マッサージ師
アスケア治療院院長
大学スポーツやスポーツチームにおいてトレーナー・ケアサポート活動、治療院向け講師、企業向け復利厚生マッサージなど多岐にわたり展開。出来る限り少ない刺激で多くの結果を出す『マイナスからゼロへ ゼロからマイナスへ』の発想でメニューを考案。

導入の理由

企業

従業員のメンタルの見守りがしたい	従業員の効率を上げたい
離職率を減らしたい	新規採用コストを減らしたい
経費を減らし、利益を上げたい	ホワイト企業になりたい
良い人材が雇用できるようにしたい	危険な現場での作業員の事故を防ぎたい
運転事故を防ぎたい	

スポーツ・チーム

成績を上げて昇格したい	オーバートレーニング症候群を減らしたい
試合前に選手のメンタル状態を判りたい	選手のメンタル状態改善で、欠員を減らしたい

ヘルスケア・健康サービス

フィットネスレッスン効果を見える化したい	ヘルスツーリズムの効果を具体的に示したい
もっとストレスケアに注目させたい	介護の現場でのストレスケアに生かしたい

実施した後の声

大手管理ソフト企業 プログラマー

「テレワークを導入後、仕事のメリハリが付かず、気分も落ち込みがち。自分の精神状態を色々な角度から分析して見ると、気がつかない事がわかって助かる」

プロサッカーリーグ 管理職

「オーバートレーニング症候群によって、メンタル面で壊れてしまう事は深刻な問題。日頃からメンタルのモニタリングをする事で、選手を守るのも我々の役目」

ヘルスツーリズム 推進の自治体

「温泉や山歩きが、ストレス減少にどのくらい効果が有るのかを数値化出来るので、ユーザーさんにも、今まで以上に興味を持っていただける様になった」

ご利用例 ①

『メンタル改善ヘルスツーリズム』

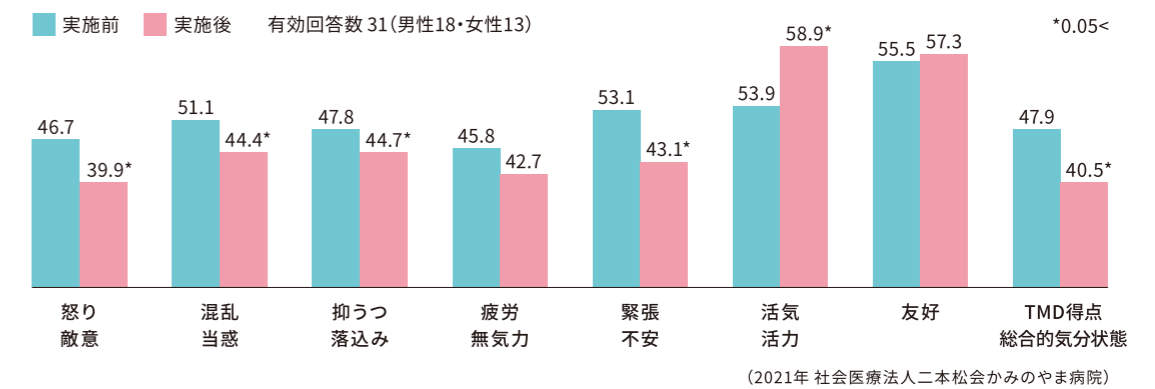
山形県上山市が、2020年メンタルヘルス改善ツアーを実施。その効果エビデンスを展開し、企業向けのPRパンフレットに採用して観光集客に役立てています。

1泊2日の滞在期間でメンタルヘルスが有意に改善

蔵王高原牧場での1泊2日モニターツアー 参加者31名対称(県内・隣県企業)

① 気分状態が改善(主観的調査)

POMS2(Profile of Mood Status 2)気分プロフィール検査
ツアー実施前後の比較T得点



② ストレスが軽減し、リラックス傾向に(外観的調査)

マインドスケール各種指標の活動前後比較

*LF(交感神経)/HF(副交感神経)による自律神経のバランス

指標	算出方法	測定	平均値	
LF/HF* (ストレス) n=27	0~100点	実施前	47.77	緊張・ストレスが低下
		実施後	47.03	
CEM値 (脳覚醒) n=16	0~1000点	実施前	430.63	リフレッシュし、 覚醒度が高まった
		実施後	470.84	
表情 (感情) n=20	0~100点	実施前	54.78	感情はリラックス、 自然な傾向に
		実施後	49.64	

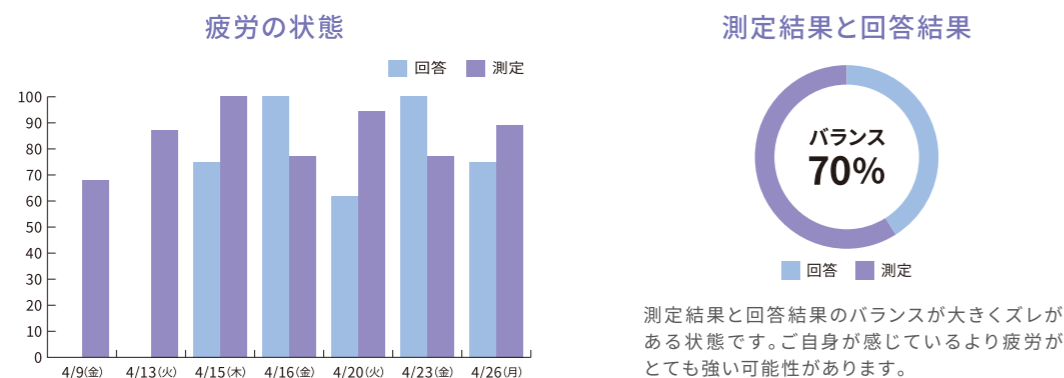
マインドスケール(問診・脈波・音声・表情に関するデータの収集・結合)による分析結果(2021年 Yume Cloud Japan.)

ご利用例 ②

『一般企業』

テレワーク者の心の状態の見守りに活用。その他、運輸業（パイロット・ドライバーなど）などメンタルの悪化が業務に影響する方や、建築業などで安全管理が必要な方など。ライフバランスを健全に保つ為のツールとしてご利用頂いております。

マインドスケールにより、ストレス値や、他の指標をリアルタイムに表示。また、体の状態と心の状態の相関や、自覚と生体データのズレを表示する事で、変調などの早期の気づきが可能。ライフバランスを健全に保つ為のツールとして活用。



ご利用例 ③

『プロスポーツクラブチーム』

プロスポーツ選手に多発するオーバートレーニング症候群による鬱状態を防止や、パフォーマンス向上のためにご利用頂いております。

選手やスタッフの状態を可視化し、事故防止や、パフォーマンス向上などに活用

- マネージャー：脳の疲労が溜まっている状態
- 選手#2：かなり緊張気味。頭が冴えている状態
- 選手#3：リラックス。頭が適度に冴えている状態

	自律神経バランス	副交換神経	交換神経	脳波変動	脳覚醒度
マネージャー	0.65	55616	36184	301	375
選手#2	0.95	86098	81745	400	755
選手#3	0.58	73446	42566	379	643

企業情報

会社名 株式会社 Yume Cloud Japan

業種 IoT製品・感情表現エンジンの開発とメンタルケアサービス

所在地 本社
〒992-0038 山形県米沢市城南4-3-16 山形大学国際事業化研究センター内1階

Tokyo Office
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-8-1 茅場町一丁目平和ビル8F FinGATE KAYABA

Yume Cloud Inc.
440 North Wolfe Road, Sunnyvale, CA 94085

設立日 Yume Cloud Inc 2014年6月1日
株式会社 Yume Cloud Japan 2019年1月31日

代表 吉田 大輔

会社沿革 2014年6月 米国カリフォルニア州にて設立 (Yume Cloud Inc)
2019年1月 山形大学(米沢)内に、(株)Yume Cloud Japanを設立
2019年4月 「感情表現エンジン」の開発について、サポイン*に採択される
2020年12月現在 日本を拠点として、「感情表現エンジン」の開発を進めている

2021年5月を目処に、本社を日本に移す為の手続き

*戦略的基盤技術高度化支援事業。

お問い合わせ先

メールアドレス：info@yume-cloud.com

電話番号：070-3350-0033

お問い合わせフォーム：<https://www.yume-cloud.com/inquiry/>

